

□■レポート作成講座 4号 2020□■

梅雨前線による豪雨が各地に甚大な被害をもたらしています。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。当該地域の方、そしてボランティアなど支援に向かう方は自らの身を守り、気をつけて活動してください。

災害時のソーシャルワークの重要性を改めて確認しつつ、緊張感の中で本養成所は、間もなくレポート締め切り日を迎えます。2年生は提出が遅れると修了に影響しますので、お気をつけください。

1年生は最初のレポートですね。まだ完成していない方は、この講座でお伝えしていることを確認しながら進めてください。書き終えている方は、今一度、課題からずれていないか、文章作法を守っているか、文献表示は正しくできているか、評価票の付け間違いがないかなど、点検の上、提出してください。

※今回、被災したためにレポート提出に支障のある方は、事務局までご相談ください。

【国試対策○×クイズ】

抗体検査は、過去の感染歴を調べる検査である。

答えと解説は最後に記載してあります。

■Plus Column*****

【ネット情報の扱い】

科目によっては専門用語が多く、「課題の内容がよくわからない」こともあります。そんな時、インターネットは情報を得るきっかけとして役に立ちます。

ただし、ネット上には偏った情報や“フェイクニュース(嘘の情報)”もあることをお忘れなく。情報の根拠を確かめ、知識を確かなものとしながら学ぶことが、学習者の基本的な態度です。くれぐれもネット情報を鵜呑みにしないようにしましょう。

例えば、自治体のホームページに「緑豊かで子どもたちは伸び伸びと、お年寄りや障害ある方も生き生き暮らしている街」などと書かれていることがあります。この場合、ホームページに書かれているからと言って「素晴らしい街だ」と断定することができるでしょうか？

「緑豊か」というなら緑化率を示し、「伸び伸び」や「生き生き」はどのような指標で測ることができるのか等を示さなくてはなりません。

こうしたことが社会学や社会調査の対象となり、その結果を根拠として社会政策を練る必要があるのです。社会福祉士とはそのような方法を身につけ、社会資源を創造、開発していく専門職です。ネット情報に惑わされず、ネット情報を駆使して、積極的に提案し、活動するソーシャルワーカーを目指して学んでいきましょう。

レポートを書くとは、そのような政策提案能力をつけていくことでもあります。さあ、頑張って完成度の高いレポートを提出してください。

これからの時代、インターネットの適切な利用が、ますます必要とされていきます。8月からのオンデマンド授業の受講環境は整っていますか？全ての受講生の皆さんに、ご自宅でのインターネット環境の整備を呼びかけたいと思います。今回のことを良い機会と捉えて、急ぎご準備くださるよう、お願いします。

■Back Number*****

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【国試対策○×クイズ: 答えと解説】

【答え】○

抗体検査は、過去の感染歴を確認する検査で、地域の感染実態を把握し、ワクチン接種の対象を決める際の基礎データとなります。これに対して、抗原検査はいま現在、ウイルスに感染しているか否かを調べる検査です。

他職種との連携を進める社会福祉士には、福祉に関係する言葉の意味をきちんと理解していることが求められます。こうした情報の収集にはインターネットが便利ですが、専門職としては複数のサイトを検索するなど、より正確な情報を得る習慣を身につけることが必要です。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus